

企画展「生誕100年記念 能登正智展」

詳細 美術博物館
〒935-2550
☎(35)2550

会期

1月28日(土)～3月12日(日)

開館時間

9時30分～17時(入館は16時30分まで)

会場

第1・2・3展示室

休館日

毎週月曜日

観覧料

一般…300円(240円)、高大生…200円(140円)、
中学生以下…無料

中学生以下…無料

※()内は10人以上の団体料金。年間観覧券での観覧可
※併せて中庭展示、常設展示も観覧できます

展示概要

苦小牧で長らく制作を行っていた画家・能登正智(の と ま さ と し)(1922～2001)は、油彩画、ガラス絵、木版画など多様な表現手法で、北の大地、北に生きるものへの賛歌をテーマとしました。作品制作のみならず、「蜂の巣」や「王子洋画研究会」といった芸術活動にも携わり、戦後の苦小牧における文化芸術の中心的な人物の一人です。美術博物館では、令和4年度に生誕100年を迎えることを記念し、初期から晩年に至るまでの作品を紹介する展覧会を行います。



湿原・家族

1991年、油彩・カンヴァス
苦小牧市美術博物館蔵

展示作品を少しだけご紹介いたします！

画面を覆うウルトラマリンブルーには、空と海、哀しみ、郷愁…など、画家がこめた原野と太古の人々への思いやイメージが思い起こされます。
このブルーは、能登正智の作品を特徴づける色彩です。